

廃棄物処理から“資源循環”へ。中間処理から“ものづくり”へ。

TOAシブル、廃棄物が原料となる「再生燃料」に新名称

TOAシブルへ社名変更から1年。社員が名付け親となり、新たに命を吹き込む。

再生重油は Reco Oil Fuel、エマルジョン燃料は Mixible Oil Fuel

廃油の収集・処理からトータルリサイクルまでを担う、株式会社TOAシブル（本社：千葉県八千代市、代表取締役社長：安池慎一郎、以下「TOAシブル」）は、「廃棄物を適正処理した後に得た副産物」という発想から、「環境に配慮した“ものづくり”を行うために廃棄物を集める」という発想に転換していきたい、そしてブランド化を図りたいという想いから、2024年4月3日（水）、当社で適性処理し生み出される再生燃料「再生重油」、「エマルジョン燃料」に新名称を命名いたしました。

今回、新名称は社内公募により決定し、再生重油は「Reco Oil Fuel」（リコオイルヒューエル）、エマルジョン燃料は「Mixible Oil Fuel (MOF)」（ミキシブルオイルヒューエル）と名付けました。また、当社の焼却設備において電気と蒸気を生み出し、構内で有効活用をしているということから、「Birther Waste Steam Electric (BWSE)」（バーサーウェイストスチームエレクトリック）と名付け、新たに各再生燃料にロゴマークも設置しています。



Reco Oil Fuel



Mixible Oil Fuel



Biomass Waste Fuel



Birther Waste Steam Electric

再生燃料 新名称について


TOAシブルでは、廃棄物を適正に処理をし、化石燃料の代替燃料である「再生燃料」に生まれ変わらせる「再資源化事業」、設備メンテナンスや環境に配慮した商品の製造、販売を行う「環境保全事業」の2つの事業をメインとしております。社名変更から1年、SDGsの達成や社会貢献を目指し、事業を軸に多くの活動に取り組んでまいりました。その中で、CO2の削減に寄与している再生燃料は「廃棄物を適正処理した後に得た副産物」という発想から、「環境に配慮した“ものづくり”を行うために廃棄物を集める」という発想に転換していきたいという想い、そして“ブランド化”を図ることによる品質や安全面での社内意識の改革を目的とし、社内公募にて新名称を命名いたしました。

新名称に加え、既存のTOAシブルオリジナルの再生固形燃料「Biomass Waste Fuel (BWF®)」含め、シンボルマークを付け“ブランド化”していくことで、製品のPRや業界のイメージを大きく変えたいという想いも目的の一つです。

環境にやさしい、まさにSDGsと真ん中企業であるTOAシブルは、今後も「緑豊かな明日を創る」ため、更なる技術革新や社会貢献を目指してまいります。

※製品の名称「Reco Oil Fuel」、「Mixible Oil Fuel」、「Birther Waste Steam Electric (BWSE)」とロゴマークは

TOAシブル新名称・ロゴマーク詳細

TOAシブル新名称 ※BWF®のみ既存	Reco Oil Fuel	Mixible Oil Fuel (MOF)	Biomass Waste Fuel (BWF®)	Birther Waste Steam Electric (BWSE)
<u>ふりがな</u>	リコオイルヒューエル	ミキシブルオイル ヒューエル	バイオマスウェイスト ヒューエル	バーサーウェイスト スチームエレクトリック
<u>製品名</u>	再生重油	エマルジョン燃料	再生固形燃料	焼却施設の蒸気・電気
<u>ロゴマーク</u>	 Reco Oil Fuel	 Mixible Oil Fuel	 Biomass Waste Fuel	 Birther Waste Steam Electric
<u>新名称の由来</u>	「Re=リサイクル（再生）とリサーブ（節約）と「eco」を掛け合わせました。再生重油が資源の節約や保全になり、かつ、燃料コストの削減にも貢献する「eco」な油という意味です。	ミックス（混合）と社名の「シブル」をかけ合わせました。廃棄物を混ぜる（Mix）ことで、新しい燃料をフレキシブルに生み出すことができる、代替燃料としての可能性が無限大の燃料という意味です。		廃棄物を焼却し、エネルギーを生み出すということから、Birther（生まれる）Waste（廃棄物）Steam（蒸気）Electric（電気）上記のワードから名付けました。
<u>製品概要</u>	車のエンジンオイルやマシンオイル等の潤滑油から水分やスラッジを取り除いて製造します。工場の燃料として主に活用されています。	第一石油類や特管廃油を、含油水などの廃棄物と混合処理し製造します。お客様のニーズに合わせ性能などがカスタマイズできる、フレキシブルな燃料です。	廃インキや廃塗料などの油性廃棄物を、当社独自の処理方法で火を使わず加工し製造しています。主にセメント会社の燃料として活用され、「燃えがら」はセメントの原料として再度活用されます。	焼却施設から排出される「蒸気」と「電気」は、廃棄物を最大限無害化する過程で生まれます。TOAシブルの処理施設は焼却施設で生まれる「蒸気」と「電気」をエネルギー活用し稼働しています。



株式会社 T O A シブル 概要

T O A シブルは、緑豊かな明日を創るため、廃棄物の再資源化ならびに環境保全に向けた技術革新で社会に貢献しています。「自然と共に生きる未来を創造する」というビジョンのもと、多種多様な産業廃棄物の収集運搬と中間処理や、「廃油のトータルサイクルのパイオニア」として、再生重油・エマルジョン燃料・再生固形燃料の製造など、サーマルリサイクル技術を強みとしたサービスを展開しています。近年では SDGs を推進するためのさまざまな活動にも注力しています。

会社名：株式会社 と う あ し ぶ る T O A シブル

所在地：千葉県八千代市上高野 1728 番地 5

設立：1968 年 12 月

代表者：代表取締役 安池 慎一郎

事業内容：産業廃棄物の収集運搬及び中間処理

再生重油の製造・販売、エマルジョン燃料の製造・販売、メンテナンス事業

H P : <https://www.toaxible.com/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 T O A シブル 経営管理本部 広報室 青砥・成田

MAIL : press@toaxible.com TEL : 047-400-7100 FAX : 047-482-7090